



2021. 7. 1

7月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

幼稚園生活に慣れてきた子どもたちは様々な遊びの場面を通して好奇心旺盛であることを知らせてくれます。長靴を履いて、雨の日にできた水たまりに入ってバシャバシャ遊んでいた子どもが、ある日、自分で水道からくんだバケツの水を運び、水たまりを作った上で裸足になってバシャバシャ遊んでいる姿を見ました。遊ぶ内容自体は、さほど変わりはないのですが、そこには「自分で水たまりを作る」、「裸足になって入ってみる」という好奇心から来る自分なりの「やってみよう」という気持ちが行動に表れていました。実際その時の感触はどうだったのかはわかりません。ひょっとしたら、「裸足になるんじゃないかな…」と思ったかもしれませんが、それはそれで大事な気付きとなり、「次はこうしよう！」と考える材料となります。しかし、人に言われてやってみたものであれば、不快な結果になった場合、その感情に対して前向きに捉えることはできず、その怒りは指示をした人間に向けられることでしょう。

幼稚園でもプレクラブや幼体クラブ、サッカークラブに参加する場合、受付前に置いてあるカゴに子どもたち自身が出席カードを入れることになっています。カードをきちんと提出しないと参加できない訳ではなく、子どもたち自身が今日の予定を把握することをねらいとしています。バス児の子は、そこに保護者がいないので覚えている子は、カードを提出しますが、うっかり忘れてお部屋に行ってしまう子もいます。自力児は、親がそばにいて参加することを把握しているので、子どもたちがカードを出す前に、「カードを出しなさい！」という指示が聞こえてくる時があります。ひょっとすると言われる前に「出そう！」と思っていたかもしれません。子どもたち自身がやってみようという気持ちは、まわりから止められたり、指示をされると半減していきます。たとえ、その場で出すことを忘れたとしても、その後担任から「カードが出ていないよ」と伝えられ、職員室に「カードを出すの忘れてた」と本人が提出しにくるようになっていきますのでご安心ください。

他人の力を借りて達成する喜びより、すべてが自分事として、たまには失敗をすることがあっても時間をかけて成功した時の喜びの方が遥かに大きく大切であることを忘れず、じっくり子どもたちの「やってみよう」を見守っていきたいと思います。

【年主題】

『共に喜んで』～すべての歩みの中～

【年主題聖句】

一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、
一つの部分が尊ばれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

(コリント信徒への手紙Ⅰ 12章26節)

7月主題 「やってみる」

聖句 「勇気を出しなさい。」 (ヨハネによる福音書16章33節)